



# 交野の景観がめざすところ





## 第3章 景観まちづくりの基本理念と基本方針

### 3-1 景観まちづくりの基本理念

第四次交野市総合計画基本構想「みんなの“かたの”基本構想」では、交野が掲げる市民憲章である「『和』(自然と、文化と、人と)」の精神を受け止め、基本的なものさしとして次のような基本理念が定められています。

**あじわい・なりわい・にぎわい**  
**“みん活”でわいわいと**  
**“かたのサイズ”なまち暮らし**

この中では、「一人ひとりのサイズがつながってまちを形づくる、それが“かたの”サイズ」であること、また「自らをよく知り、味わい、活動し、楽しみながら、みんなで夢に向かって“かたの”の身の丈を大きく」していくという考え方が示されています。

また、交野市都市計画マスタープランでは、「交野らしさ」を活かして次のようなまちづくりの方針が定められています。

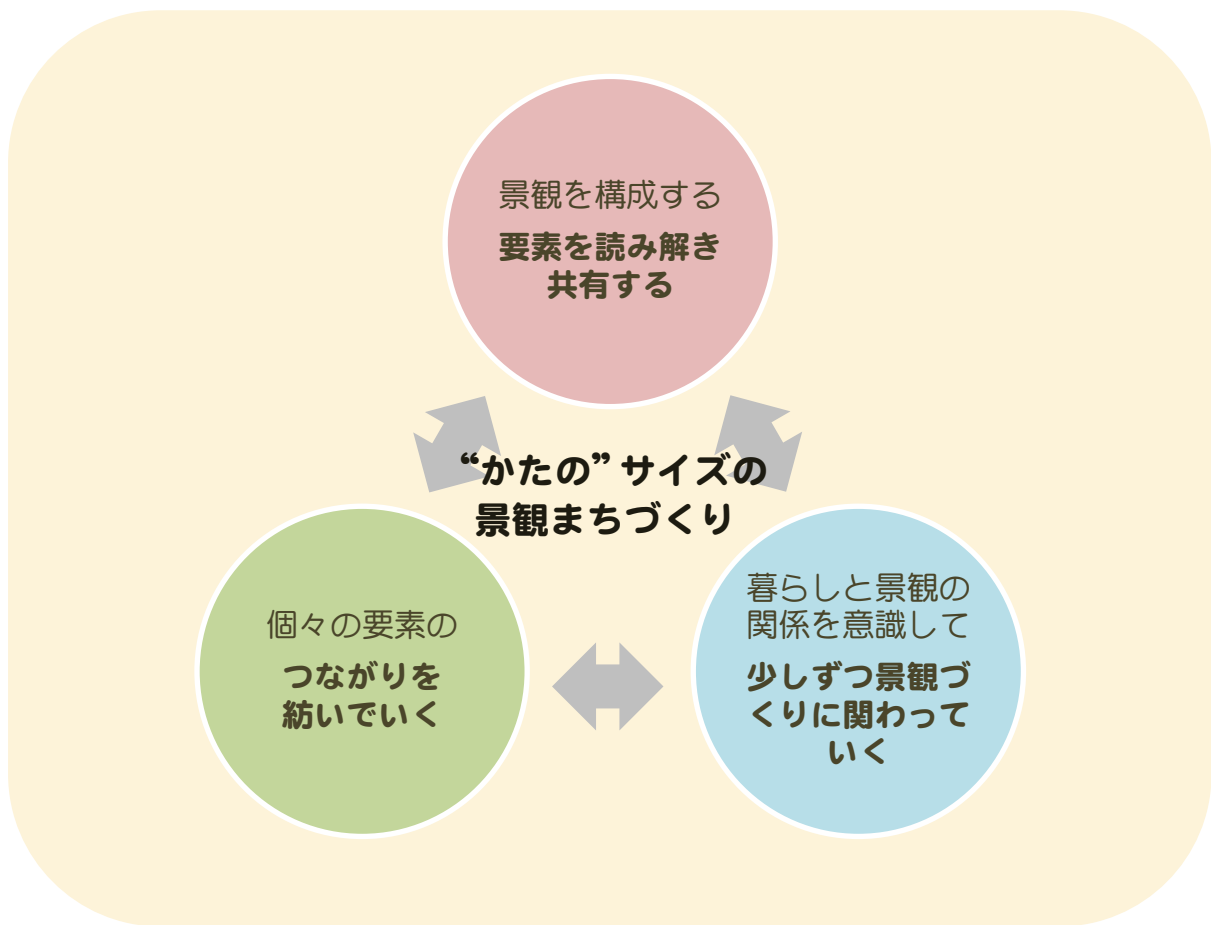
**ひと・まち・くらし みんな生きいき**  
**星のまち☆かたの**

これは、自然・文化・都市環境など交野の素晴らしい資源を見つめ直し、活用することにより、人が交流する新しいまちの魅力が創造され、暮らしてみたい・暮らしつつ感じたいと、生きいきとした都市づくりを目指すものです。

景観まちづくりにおいてもこれらの考え方を継承するものとします。

交野の景観は、身近で豊かな自然、歴史文化、暮らし、にぎわいなどそれぞれに個性のある要素がほどよく存在していることが特徴です。これらの要素は私たちの先人が暮らしの中で自然やまちと関わる中から生まれ、また見出されてきたものでもあります。

こうした今ある要素を大切に、私たちの身の回りの景観が暮らしの営みとつながっていることを意識しながら、個々の要素に対する思いを確認し、それらの関係性を紡いでいくことで“かたの”サイズの景観をつくっていく、そのためにみんなが少しずつ関わっていくことを景観まちづくりの基本理念とします。



景観まちづくりの基本理念

## 3-2 景観まちづくりの基本方針

景観まちづくりの基本理念に基づき、以下の方針に沿って景観まちづくりに取り組んでいくものとします。

### (1) 交野らしい景観を再認識する

交野には、山や里の自然、古墳や遺跡、集落などの歴史、伝統的な生活文化を継承する集落の暮らしや伝説、新しい山の手住宅地での暮らし、駅前や幹線道路沿道でのにぎわいなどそれぞれに個性のある要素がほどよく共存し、そのことが交野らしい景観を形づくっています。

こうした交野らしい景観の要素はさりげなく存在しているため、普段は意識することも少ないのですが、そのよさを見直し、それらが交野らしい景観を形づくる要素となっていることを改めて認識します。

### (2) それぞれのまちへの思いを再編集する

それぞれに個性のある交野らしい景観の要素に対する、私たちそれぞれの思いを確認し、その思いを新しい視点でつないでいくことで、これまで気づけなかった交野の魅力を見つけていきます。変えてはいけないものや守るべきものは何か、人々の営みに応じて変わっていくべきものは何かといったことに配慮しながら、まちや景観との関わりを増やしていきます。

### (3) それぞれがそれぞれの立場で取り組む

景観まちづくりは市民、事業者、市という立場の異なる主体がみんなで行っていく必要があります。

それぞれがそれぞれの立場から持ち味をいかし、担うべき役割を認識しながら、それぞれにできることに取り組んでいきます。さらに、個別の活動とともに、思いを共感する仲間とのつながりや、立場の異なる主体とのつながりづくりを進めながら取組の輪を広げていきます。